

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的 I 数的推理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	1 方程式（方程式、不等式、過不足算） 2 方程式（平均算・過不足算）、整数・計算パズル（約数と倍数） 3 整数・計算パズル（割り算の余り～覆面算） 4 整数・計算パズル（n進法）、割合と比（割合） 5 割合と比（比） 6 割合と比（売買算） 7 割合と比（濃度） 8 速さ（速さ） 9 速さ（旅人算） 10 速さ（通過算、流水算、時計算） 11 仕事算（仕事算、給排水算、ニュートン算） 12 場合の数（場合の数、順列） 13 場合の数（順列、組合せ） 14 場合の数（道順）、確率（事象と確率、赤玉白玉、くじ引き） 15 確率（赤玉白玉、くじ引き、サイコロ・コイン）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅱ 判断推理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20 時間
授業コマ数	10 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論理（対偶、三段論法、確定条件、複合命題の分割、論理と集合） 2 集合の要素の個数（2つのベン図、3つのベン図、キャロル図） 3 順序の決定（パズル化、確定条件、男女の区別、順序と対応、折り返し） 4 順序の変動、順序の数値条件 5 順序の数値条件、対応（対応表、確定条件） 6 対応（やりとり）、対応の数値条件、スケジュール 7 位置と方位（位置、議長席） 8 位置と方位（円卓、道をへだてて、方位） 9 勝ち負け、カード・ゲーム、ウソの発言 10 推理・手順、暗号
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅲ 空間把握・資料解釈
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	2 4 時間
授業コマ数	1 2 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読み解く力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 折り紙、回転の軌跡 2 正多面体、展開図 3 平面図形の構成、サイコロ、見取り図と投影図、積木 4 積木、立体の切断、回転体 5 一筆書き、平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理） 6 平面図形の計量（三平方の定理、相似比、中点連結定理） 7 平面図形の計量（底辺分割定理、相似比と面積比） 8 平面図形の計量（角度、円周角の定理、接弦定理、円の接線の長さ） 9 平面図形の計量（内接円、円弧の長さ）、資料解釈（実数・割合） 10 平面図形の計量（扇形の面積）、資料解釈（構成比） 11 立体図形の計量（立体の体積、回転体の体積）、資料解釈（指数） 12 立体図形の計量（断面積、表面積、体積比）、資料解釈（増加率）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																				
授業科目	実践社会科学Ⅰ 政治																				
実務家教員	○																				
学部・学科	公務員学科 1 年制																				
履修年次	1 年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修																				
授業方法	講義																				
授業時間	20 時間																				
授業コマ数	10 コマ（1 コマ 120 分）																				
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ																				
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																				
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記																					
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>政治の基本理念、国家論</td></tr> <tr><td>2</td><td>政治制度論</td></tr> <tr><td>3</td><td>基本的人権総論、包括的基本権</td></tr> <tr><td>4</td><td>自由権</td></tr> <tr><td>5</td><td>社会権</td></tr> <tr><td>6</td><td>国会の機構と運営</td></tr> <tr><td>7</td><td>内閣の機構と運営</td></tr> <tr><td>8</td><td>裁判所の機構と運営</td></tr> <tr><td>9</td><td>地方自治</td></tr> <tr><td>10</td><td>選挙制度</td></tr> </table>	1	政治の基本理念、国家論	2	政治制度論	3	基本的人権総論、包括的基本権	4	自由権	5	社会権	6	国会の機構と運営	7	内閣の機構と運営	8	裁判所の機構と運営	9	地方自治	10	選挙制度
1	政治の基本理念、国家論																				
2	政治制度論																				
3	基本的人権総論、包括的基本権																				
4	自由権																				
5	社会権																				
6	国会の機構と運営																				
7	内閣の機構と運営																				
8	裁判所の機構と運営																				
9	地方自治																				
10	選挙制度																				
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験																				
備考																					

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅱ 経済
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	2 4 時間
授業コマ数	1 2 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と本試験レベルの実践的知識までを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 経済社会の変容、現代の企業 2 現代の市場 3 国民所得 4 経済成長と景気循環 5 通貨制度と金融政策 6 財政制度と財政政策 7 貿易と外国為替 8 日本経済の動向 9 国際経済の動向 10 社会理論、労働問題 11 社会保障、環境問題 12 国際関係、現代の諸相
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																				
授業科目	実践人文科学Ⅰ 地理																				
実務家教員																					
学部・学科	公務員学科 1 年制																				
履修年次	1 年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修																				
授業方法	講義																				
授業時間	20 時間																				
授業コマ数	10 コマ（1 コマ 120 分）																				
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ																				
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																				
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記																					
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>世界の地形</td></tr> <tr><td>2</td><td>世界の気候</td></tr> <tr><td>3</td><td>世界の農業</td></tr> <tr><td>4</td><td>世界の資源</td></tr> <tr><td>5</td><td>世界の工業</td></tr> <tr><td>6</td><td>地図の特色と利用</td></tr> <tr><td>7</td><td>生活と地域</td></tr> <tr><td>8</td><td>日本地誌</td></tr> <tr><td>9</td><td>世界地誌（アジア、アフリカ）</td></tr> <tr><td>10</td><td>世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）</td></tr> </table>	1	世界の地形	2	世界の気候	3	世界の農業	4	世界の資源	5	世界の工業	6	地図の特色と利用	7	生活と地域	8	日本地誌	9	世界地誌（アジア、アフリカ）	10	世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
1	世界の地形																				
2	世界の気候																				
3	世界の農業																				
4	世界の資源																				
5	世界の工業																				
6	地図の特色と利用																				
7	生活と地域																				
8	日本地誌																				
9	世界地誌（アジア、アフリカ）																				
10	世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）																				
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験																				
備考																					

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ⅱ 歴史
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 鎌倉時代 4 室町時代 5 封建社会の確立 6 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革） 7 江戸時代（幕末）、明治維新 8 立憲体制の確立 9 近代文化の発展 10 大正、昭和 11 中国史 1（殷～漢） 12 中国史 2（魏晉南北朝～隋、唐） 13 中国史 3（宋、元） 14 中国史 4（明、清） 15 中国史 5（清の崩壊、中華民国）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	実践言語Ⅰ 文理・国語																
実務家教員	○																
学部・学科	公務員学科 1 年制																
履修年次	1 年次																
開講学期	前期																
科目区分	必修																
授業方法	講義																
授業時間	1 5 時間																
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分） ※ 8 コマ目のみ 6 0 分																
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める																
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身につける																
教科書	オリジナルテキスト																
特記																	
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>要旨把握、四字熟語</td></tr> <tr><td>2</td><td>要旨把握、四字熟語</td></tr> <tr><td>3</td><td>内容合致、ことわざ</td></tr> <tr><td>4</td><td>内容合致、ことわざ</td></tr> <tr><td>5</td><td>文章整除、文法基礎</td></tr> <tr><td>6</td><td>文章整除、文法基礎</td></tr> <tr><td>7</td><td>文章の穴埋め、敬語</td></tr> <tr><td>8</td><td>文章の穴埋め、敬語</td></tr> </table>	1	要旨把握、四字熟語	2	要旨把握、四字熟語	3	内容合致、ことわざ	4	内容合致、ことわざ	5	文章整除、文法基礎	6	文章整除、文法基礎	7	文章の穴埋め、敬語	8	文章の穴埋め、敬語
1	要旨把握、四字熟語																
2	要旨把握、四字熟語																
3	内容合致、ことわざ																
4	内容合致、ことわざ																
5	文章整除、文法基礎																
6	文章整除、文法基礎																
7	文章の穴埋め、敬語																
8	文章の穴埋め、敬語																
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価																
備考																	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅰ 数的処理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	24 時間
授業コマ数	12 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 方程式・不等式・整数・計算パズル 2 割合と比 3 速さ・仕事算 4 場合の数・確率 5 論理・集合と要素の個数 6 順序・対応 7 位置と方位・勝ち負け・カード・ウソの発言 8 推理・手順・暗号・家系図 9 折り紙・回転の軌跡・正多面体・展開図・平面図形の構成 10 サイコロ・見取り図と投影図・積木・立体の切断・回転体・一筆書き 11 平面図形の計量 12 立体図形の計量・資料解釈
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅱ 社会科学
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	2 8 時間
授業コマ数	1 4 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権① 3 基本的人権② 4 国会の機構と運営 5 内閣の機構と運営 6 裁判所の機構と運営 7 地方自治、選挙制度 8 現代の企業、現代の市場 9 国民所得 10 通貨制度と金融政策 11 財政制度と財政政策 12 貿易と外国為替 13 社会総合① 14 社会総合②
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 100問の知識習得状況を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅲ 人文科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	2 4 時間
授業コマ数	1 2 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	地理・歴史・倫理の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集・オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 日本史（原始、古代） 2 日本史（中世、近世Ⅰ） 3 日本史（近世Ⅱ、近代Ⅰ） 4 日本史（近代Ⅱ、現代、通史） 5 地理（自然環境と地図） 6 地理（資源と産業、生活と地域） 7 地理（日本の地理） 8 地理（世界の地理） 9 世界史（東洋世界） 10 世界史（現代世界） 11 倫理（西洋思想） 12 倫理（東洋思想）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科１年制
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	４８時間
授業コマ数	２４コマ（１コマ１２０分）
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	基礎的な内容に一部実践的な問題を加えた５０題の模擬試験で３０点以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	１ 基礎的なレベルの模擬試験① ２ 模擬試験の解説（知能系科目） ３ 模擬試験の解説（知識系科目） ４ 基礎的なレベルの模擬試験② ５ 模擬試験の解説（知能系科目） ６ 模擬試験の解説（知識系科目） ７ 基礎的なレベルの模擬試験③ ８ 模擬試験の解説（知能系科目） ９ 模擬試験の解説（知識系科目） １０ 基礎的なレベルの模擬試験④ １１ 模擬試験の解説（知能系科目） １２ 模擬試験の解説（知識系科目） １３ 一部応用レベルまで含むタイプの模擬試験① １４ 模擬試験の解説（知能系科目） １５ 模擬試験の解説（知識系科目） １６ 一部応用レベルまで含むタイプの模擬試験② １７ 模擬試験の解説（知能系科目） １８ 模擬試験の解説（知識系科目） １９ 一部応用レベルまで含むタイプの模擬試験③ ２０ 模擬試験の解説（知能系科目） ２１ 模擬試験の解説（知識系科目） ２２ 一部応用レベルまで含むタイプの模擬試験④ ２３ 模擬試験の解説（知能系科目） ２４ 模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験１００％ 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	108 時間
授業コマ数	54 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 国家公務員タイプの模擬試験①
	2 模擬試験①の解説
	3 国家公務員タイプの模擬試験②
	4 模擬試験②の解説
	5 国家公務員タイプの模擬試験③
	6 模擬試験③の解説
	7 国家公務員タイプの模擬試験④
	8 模擬試験④の解説
	9 国家公務員タイプの模擬試験⑤
	10 模擬試験⑤の解説
	11 国家公務員タイプの模擬試験⑥
	12 模擬試験⑥の解説
	13 国家公務員タイプの模擬試験⑦
	14 模擬試験⑦の解説
	15 国家公務員タイプの模擬試験⑧
	16 模擬試験⑧の解説
	17 国家公務員タイプの模擬試験⑨
	18 模擬試験⑨の解説
	19 国家公務員タイプの模擬試験⑩
	20 模擬試験⑩の解説
	21 国家公務員タイプの模擬試験⑪
	22 模擬試験⑪の解説
	23 国家公務員タイプの模擬試験⑫
	24 模擬試験⑫の解説
	25 国家公務員タイプの模擬試験⑬
	26 模擬試験⑬の解説
	27 地方公務員タイプの模擬試験①
	28 模擬試験①の解説
	29 地方公務員タイプの模擬試験②
	30 模擬試験②の解説
	31 地方公務員タイプの模擬試験③
	32 模擬試験③の解説
	33 地方公務員タイプの模擬試験④
	34 模擬試験④の解説
	35 地方公務員タイプの模擬試験⑤
	36 模擬試験⑤の解説
	37 地方公務員タイプの模擬試験⑥
	38 模擬試験⑥の解説
	39 地方公務員タイプの模擬試験⑦
	40 模擬試験⑦の解説
	41 地方公務員タイプの模擬試験⑧
	42 模擬試験⑧の解説
	43 地方公務員タイプの模擬試験⑨
	44 模擬試験⑨の解説
	45 地方公務員タイプの模擬試験⑩
	46 模擬試験⑩の解説
	47 地方公務員タイプの模擬試験⑪
	48 模擬試験⑪の解説
	49 地方公務員タイプの模擬試験⑫
	50 模擬試験⑫の解説
	51 地方公務員タイプの模擬試験⑬
	52 模擬試験⑬の解説
	53 地方公務員タイプの模擬試験⑭
	54 模擬試験⑭の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	公務員時事対策																														
実務家教員																															
学部・学科	公務員学科 1 年制																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義																														
授業時間	30 時間																														
授業コマ数	15 コマ（1 コマ 120 分）																														
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ																														
授業の進め方	重要な時事ワードを軸にその内容を解説し、問題演習まで行う																														
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>時事（政治分野 1）</td></tr> <tr><td>2</td><td>時事（政治分野 2）</td></tr> <tr><td>3</td><td>時事（政治分野 3）</td></tr> <tr><td>4</td><td>時事（経済分野 1）</td></tr> <tr><td>5</td><td>時事（経済分野 2）</td></tr> <tr><td>6</td><td>時事（文化 1）</td></tr> <tr><td>7</td><td>時事（文化 2）</td></tr> <tr><td>8</td><td>時事（文化 3）</td></tr> <tr><td>9</td><td>時事（科学 1）</td></tr> <tr><td>10</td><td>時事（科学 2）</td></tr> <tr><td>11</td><td>時事（科学 3）</td></tr> <tr><td>12</td><td>時事（科学 4）</td></tr> <tr><td>13</td><td>時事（科学 5）</td></tr> <tr><td>14</td><td>時事（国際問題 1）</td></tr> <tr><td>15</td><td>時事（国際問題 2）</td></tr> </table>	1	時事（政治分野 1）	2	時事（政治分野 2）	3	時事（政治分野 3）	4	時事（経済分野 1）	5	時事（経済分野 2）	6	時事（文化 1）	7	時事（文化 2）	8	時事（文化 3）	9	時事（科学 1）	10	時事（科学 2）	11	時事（科学 3）	12	時事（科学 4）	13	時事（科学 5）	14	時事（国際問題 1）	15	時事（国際問題 2）
1	時事（政治分野 1）																														
2	時事（政治分野 2）																														
3	時事（政治分野 3）																														
4	時事（経済分野 1）																														
5	時事（経済分野 2）																														
6	時事（文化 1）																														
7	時事（文化 2）																														
8	時事（文化 3）																														
9	時事（科学 1）																														
10	時事（科学 2）																														
11	時事（科学 3）																														
12	時事（科学 4）																														
13	時事（科学 5）																														
14	時事（国際問題 1）																														
15	時事（国際問題 2）																														
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	40 時間
授業コマ数	20 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験パターン 1 の解答方法 2 適性試験パターン 1 の練習 3 適性試験パターン 2 の解答方法 4 適性試験パターン 2 の練習 5 適性試験パターン 3 の解答方法 6 適性試験パターン 3 の練習 7 適性試験練習 1 8 適性試験練習 2 9 適性試験練習 3 10 適性試験練習 4 11 適性試験練習 5 12 適性試験練習 6 13 模擬試験（適性試験） 1 14 模擬試験（適性試験） 2 15 模擬試験（適性試験） 3 16 模擬試験（適性試験） 4 17 模擬試験（適性試験） 5 18 模擬試験（適性試験） 6 19 模擬試験（適性試験） 7 20 適性試験（模擬試験） 8
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向 3 基本テーマによる作文 4 添削および返却答案の修正 5 模範作文の研究 6 作文練習 1 7 作文練習 2 8 作文練習 3 9 作文練習 4 10 作文練習 5 11 作文練習 6 12 作文練習 7 13 作文練習 8 14 作文練習 9 15 作文練習 10
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、提出した作文の完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅳ 数的総合
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理の基礎知識を定着させる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 方程式（方程式） 2 方程式（不等式）（過不足算） 3 方程式（平均算）（年齢算） 4 整数・計算パズル（約数と倍数） 5 整数・計算パズル（割り算の余り、整数の性質、カレンダー） 6 整数・計算パズル（数列、魔方陣） 7 整数・計算パズル（虫食算、覆面算、n 進法） 8 割合と比（割合） 9 割合と比（比） 10 割合と比（売買算） 11 割合と比（濃度） 12 速さ（速さ） 13 速さ（旅人算、通過算） 14 速さ（流水算、時計算） 15 仕事算（仕事算） 16 仕事算（給排水算、ニュートン算） 17 場合の数（場合の数、順列） 18 場合の数（組合せ、道順） 19 確率（事象と確率、赤玉白玉） 20 確率（赤玉白玉、くじ引き、サイコロ、コイン）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅰ 生物・地学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	28 時間
授業コマ数	14 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 生体の構造 2 生体内の代謝 3 生殖と発生 4 遺伝と変異 5 刺激の受容と反応 6 内部環境の恒常性と調節 7 生物の集団 8 生物の進化と系統 9 地球の姿と動く大地 10 岩石 11 大気と海洋Ⅰ 12 大気と海洋Ⅱ 13 太陽系と宇宙の構造Ⅰ 14 太陽系と宇宙の構造Ⅱ、地球と人類
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅱ 物理・化学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	2 8 時間
授業コマ数	1 4 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の変化を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 運動の表現 2 力 3 運動方程式 4 エネルギー 5 運動量、熱 6 波動、原子 7 電気 8 物質の構造 1 9 物質の構造 2 10 物質の状態 1 11 物質の状態 2 12 物質の変化 1 13 物質の変化 2 14 無機化合物
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅳ 自然科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	1 6 時間
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 生体の構造、生体内の代謝 2 生殖と発生、遺伝と変異 3 刺激の受容と反応 4 内部環境の恒常性と調整 5 生物の集団、生物の進化と系統 6 地球の姿と動く大地・岩石 7 大気と海洋、太陽系と宇宙の構造 8 地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 100問の知識習得状況を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科１年制
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ（１コマ１２０分）
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	実践的な問題を含む５０題の模擬試験で３０点以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	１ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験① ２ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験② ３ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験③ ４ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験④ ５ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑤ ６ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑥ ７ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑦ ８ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑧ ９ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑨ １０ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑩ １１ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑪ １２ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑫ １３ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑬ １４ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑭ １５ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑮ １６ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑯ １７ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑰ １８ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑱ １９ 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑲ ２０ 国家公務員タイプの模擬試験① ２１ 国家公務員タイプの模擬試験② ２２ 国家公務員タイプの模擬試験③ ２３ 国家公務員タイプの模擬試験④ ２４ 国家公務員タイプの模擬試験⑤ ２５ 国家公務員タイプの模擬試験⑥ ２６ 国家公務員タイプの模擬試験⑦ ２７ 国家公務員タイプの模擬試験⑧ ２８ 国家公務員タイプの模擬試験⑨ ２９ 国家公務員タイプの模擬試験⑩ ３０ 国家公務員タイプの模擬試験⑪ ３１ 国家公務員タイプの模擬試験⑫ ３２ 国家公務員タイプの模擬試験⑬ ３３ 地方公務員タイプの模擬試験① ３４ 地方公務員タイプの模擬試験② ３５ 地方公務員タイプの模擬試験③ ３６ 地方公務員タイプの模擬試験④ ３７ 地方公務員タイプの模擬試験⑤ ３８ 地方公務員タイプの模擬試験⑥ ３９ 地方公務員タイプの模擬試験⑦ ４０ 地方公務員タイプの模擬試験⑧ ４１ 地方公務員タイプの模擬試験⑨ ４２ 地方公務員タイプの模擬試験⑩ ４３ 地方公務員タイプの模擬試験⑪ ４４ 地方公務員タイプの模擬試験⑫ ４５ 地方公務員タイプの模擬試験⑬
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験１００％ 模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	1 0 2 時間
授業コマ数	5 1 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 本試験レベルの模擬試験① 2 模擬試験①の解説 3 本試験レベルの模擬試験② 4 模擬試験②の解説 5 本試験レベルの模擬試験③ 6 模擬試験③の解説 7 本試験レベルの模擬試験④ 8 模擬試験④の解説 9 本試験レベルの模擬試験⑤ 10 模擬試験⑤の解説 11 本試験レベルの模擬試験⑥ 12 模擬試験⑥の解説 13 本試験レベルの模擬試験⑦ 14 模擬試験⑦の解説 15 本試験レベルの模擬試験⑧ 16 模擬試験⑧の解説 17 本試験レベルの模擬試験⑨ 18 模擬試験⑨の解説 19 本試験レベルの模擬試験⑩ 20 模擬試験⑩の解説 21 本試験レベルの模擬試験⑪ 22 模擬試験⑪の解説 23 本試験レベルの模擬試験⑫ 24 模擬試験⑫の解説 25 本試験レベルの模擬試験⑬ 26 模擬試験⑬の解説 27 本試験レベルの模擬試験⑭ 28 模擬試験⑭の解説 29 本試験レベルの模擬試験⑮ 30 模擬試験⑮の解説 31 本試験レベルの模擬試験⑯ 32 模擬試験⑯の解説 33 本試験レベルの模擬試験⑰ 34 模擬試験⑰の解説 35 本試験レベルの模擬試験⑱ 36 模擬試験⑱の解説 37 本試験レベルの模擬試験⑲ 38 模擬試験⑲の解説 39 本試験レベルの模擬試験⑳ 40 模擬試験㉑の解説 41 本試験レベルの模擬試験㉒ 42 模擬試験㉒の解説 43 本試験レベルの模擬試験㉓ 44 模擬試験㉓の解説 45 本試験レベルの模擬試験㉔ 46 模擬試験㉔の解説 47 本試験レベルの模擬試験㉕ 48 模擬試験㉕の解説 49 本試験レベルの模擬試験㉖ 50 模擬試験㉖の解説 51 模擬試験（過去問題）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 地方公務員試験タイプの模擬試験① 2 模擬試験①の解説 3 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験① 4 模擬試験①の解説 5 地方公務員タイプの模擬試験② 6 模擬試験②の解説 7 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験② 8 模擬試験②の解説 9 地方公務員タイプの模擬試験③ 10 模擬試験③の解説 11 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験③ 12 模擬試験③の解説 13 地方公務員タイプの模擬試験④ 14 模擬試験④の解説 15 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験④
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	憲法
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	40 時間
授業コマ数	20 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 憲法総論 2 基本的人権総論 3 包括的基本権 4 法の下の平等 5 思想良心の自由、信教の自由 6 信教の自由、表現の自由 7 表現の自由 8 表現の自由、学問の自由 9 職業選択の自由 10 財産権 11 人身の自由、社会権 12 社会権、参政権、受益権 13 国会 14 内閣、裁判所 15 裁判所 16 財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義 17 総合演習 1 18 総合演習 2 19 総合演習 3 20 総合演習 4
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	民法
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	6 8 時間
授業コマ数	3 2 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 権利能力、意思能力と行為能力 2 無効・取消し 3 意思の不存在、瑕疵ある意思表示 4 代理権 5 代理行為、無権代理 6 無権代理と相続、表見代理 7 時効総説、時効の完成猶予・更新 8 取得時効、消滅時効、物権の効力 9 物権変動の一般理論、177条（対抗要件主義） 10 物権変動と登記の要否 11 即時取得制度、占有の効力 12 共有、地役権 13 担保物権総論、留置権 14 抵当権 15 復代理、質権 16 法定地上権、譲渡担保 17 債務不履行、債務不履行に基づく損害賠償 18 債権者代位権 19 詐害行為取消権（債権者取消権） 20 連帯債務、保証債務 21 債権譲渡 22 弁済、相殺 23 契約の効力（双務契約の特則）、契約の解除 24 売買（1） 25 売買（2） 26 賃貸借 27 不当利得 28 不法行為 29 婚姻、親子関係 30 相続、遺留分 31 弁済の提供、受領遅滞、解除の効果 32 贈与、請負、委任
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政法
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 8 時間
授業コマ数	1 9 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	行政作用法、行政救済法および行政組織法について行政法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 行政法の一般的な法理論 2 行政法上の法律関係、行政行為の意義・分類 3 行政行為の効力・瑕疵 4 行政行為の裁量、行政行為の成立・消滅 5 行政行為の附款、行政強制 6 行政罰、行政調査 7 行政契約、行政計画、行政指導 8 行政立法、行政手続法 9 行政手続法、手続の瑕疵 10 行政機関情報公開法 11 行政救済法一般、行政不服審査法 12 行政不服審査法 13 行政事件訴訟法（取消訴訟） 14 行政事件訴訟法（取消訴訟） 15 行政事件訴訟法（その他抗告訴訟） 16 国家賠償法 17 国家賠償法、損失補償、国家補償の谷間の問題 18 行政組織法、地方自治法 19 地方自治法、総合演習
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	公務員時事研究		
実務家教員			
学部・学科	公務員学科 1 年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）		
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する		
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる		
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける		
教科書	なし		
特記			
授業計画	1	情報収集と考察	テーマ 1
	2	情報収集と考察	テーマ 2
	3	情報収集と考察	テーマ 3
	4	情報収集と考察	テーマ 4
	5	情報収集と考察	テーマ 5
	6	情報収集と考察	テーマ 6
	7	情報収集と考察	テーマ 7
	8	情報収集と考察	テーマ 8
	9	情報収集と考察	テーマ 9
	10	情報収集と考察	テーマ 1 0
	11	情報収集と考察	テーマ 1 1
	12	情報収集と考察	テーマ 1 2
	13	情報収集と考察	テーマ 1 3
	14	情報収集と考察	テーマ 1 4
	15	情報収集と考察	テーマ 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	レポート100% 提出物の成果を評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養 I
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 2 級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 1 2 訓読み・送り仮名 2 3 熟語 1 4 熟語 2 5 熟語 3 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正 1 8 誤字訂正 2、類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方 1 11 漢字の意味・使い方 2 12 項目別模擬試験 1 13 項目別模擬試験 2 14 直前模擬試験 1 15 直前模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 1 級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名・熟語 1 2 訓読み・送り仮名・熟語 2 3 同音異義・異字同訓 4 誤字訂正、類義語・反対語 5 漢字の意味・使い方 1 6 漢字の意味・使い方 2 7 漢字の意味・使い方 3 8 ことわざ・故事成語・慣用句 1 9 ことわざ・故事成語・慣用句 2 10 特殊な漢字の読み書き 1 11 特殊な漢字の読み書き 2 12 項目別模擬試験 1 13 項目別模擬試験 2 14 直前模擬試験 1 15 直前模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能検定 3・4 級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 電卓の基礎知識 2 キー操作練習 3 加減算練習 4 見取算練習 5 乗除算練習 6 伝票算練習 7 電卓総合演習 1 8 電卓総合演習 2 9 電卓総合演習 3 10 電卓総合演習 4 11 電卓総合演習 5 12 電卓総合演習 6 13 電卓総合演習 7 14 電卓総合演習 8 15 電卓総合演習 9
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科１年制
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能検定１・２級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 小数点以下の取り扱い諸注意 2 電卓実践演習 1 3 電卓実践演習 2 4 電卓実践演習 3 5 電卓実践演習 4 6 電卓実践演習 5 7 電卓実践演習 6 8 電卓実践演習 7 9 電卓実践演習 8 10 電卓実践演習 9 11 電卓実践演習 10 12 電卓実践演習 11 13 電卓実践演習 12 14 電卓実践演習 13 15 電卓実践演習 14
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス文書作成
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	自身でビジネス文書を作成出来るようになる
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 文字入力の基礎 1 2 文字入力の基礎 2 3 ビジネス文書作成 1（案内文） 4 ビジネス文書作成 2（案内文） 5 ビジネス文書作成 3（送付状） 6 ビジネス文書作成 4（送付状） 7 ビジネス文書作成 5（社内文書） 8 ビジネス文書作成 6（社内文書） 9 ビジネス文書作成 7（表作成） 10 ビジネス文書作成 8（表作成） 11 ビジネス文書作成 9（表作成） 12 ビジネス文書作成 10（文章と表の組み合わせ） 13 ビジネス文書作成 11（文章と表の組み合わせ） 14 ビジネス文書作成 12（メール文章・メールの設定） 15 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科１年制
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ（１コマ１２０分）
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	面接時の入退室及び自己ＰＲが出来るようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方、身嗜みチェック 3 初級面接効果測定 4 自己分析① 5 自己分析② 6 自己分析③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 志望動機① 11 志望動機② 12 志望動機③ 13 面接カードの作成 14 中級面接効果測定 15 模擬面接試験の検証
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 エントリーシート・面接カード作成① 2 エントリーシート・面接カード作成② 3 エントリーシート・面接カード作成③ 4 エントリーシート・面接カード作成④ 5 エントリーシート・面接カード作成⑤ 6 職種研究① 7 職種研究② 8 職種研究③ 9 職種研究④ 10 面接効果測定準備 11 上級面接効果測定 12 模擬面接準備 13 模擬面接① 14 模擬面接② 15 模擬面接③
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科１年制
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ（１コマ１２０分）
授業概要	就職活動に必要な所作を学び、試験８職種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	講義で基本的スキルを学び、座学終了後は実践を取り入れて進行する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 自己分析 3 エントリーシート① 4 エントリーシート② 5 エントリーシート③ 6 効果測定①（入退室・自己分析） 7 面接質問項目 8 志望動機 9 面接カードの作成① 10 面接カードの作成② 11 効果測定②（全般） 12 集団討論対策① 13 集団討論対策② 14 受験職種研究（職種①） 15 模擬面接（職種①１回目） 16 模擬面接（職種①２回目） 17 模擬面接（職種①３回目） 18 受験職種研究（職種②） 19 模擬面接（職種②１回目） 20 模擬面接（職種②２回目） 21 模擬面接（職種②３回目） 22 受験職種研究（職種③） 23 模擬面接（職種③１回目） 24 模擬面接（職種③２回目） 25 模擬面接（職種③３回目） 26 受験職種研究（職種④） 27 模擬面接（職種④１回目） 28 模擬面接（職種④２回目） 29 模擬面接（職種④３回目） 30 受験職種研究（職種⑤） 31 模擬面接（職種⑤１回目） 32 模擬面接（職種⑤２回目） 33 模擬面接（職種⑤３回目） 34 受験職種研究（職種⑥） 35 模擬面接（職種⑥１回目） 36 模擬面接（職種⑥２回目） 37 模擬面接（職種⑥３回目） 38 受験職種研究（職種⑦） 39 模擬面接（職種⑦１回目） 40 模擬面接（職種⑦２回目） 41 模擬面接（職種⑦３回目） 42 受験職種研究（職種⑧） 43 模擬面接（職種⑧１回目） 44 模擬面接（職種⑧２回目） 45 模擬面接（職種⑧３回目）
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定１００％ 実技による効果測定
備考	授業順序は前後することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	1 2 0 時間
授業コマ数	6 0 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	秋試験10職種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 受験職種研究 1（職種①）
	2 受験職種研究 2（職種①）
	3 受験職種研究 3（職種①）
	4 模擬個人面接 1（職種①）
	5 模擬個人面接 2（職種①）
	6 模擬個人面接 3（職種①）
	7 受験職種研究 4（職種②）
	8 受験職種研究 5（職種②）
	9 受験職種研究 6（職種②）
	10 模擬個人面接 4（職種②）
	11 模擬個人面接 5（職種②）
	12 模擬個人面接 6（職種②）
	13 受験職種研究 7（職種③）
	14 受験職種研究 8（職種③）
	15 受験職種研究 9（職種③）
	16 模擬個人面接 7（職種③）
	17 模擬個人面接 8（職種③）
	18 模擬個人面接 9（職種③）
	19 受験職種研究 1 0（職種④）
	20 受験職種研究 1 1（職種④）
	21 受験職種研究 1 2（職種④）
	22 模擬個人面接 1 0（職種④）
	23 模擬個人面接 1 1（職種④）
	24 模擬個人面接 1 2（職種④）
	25 受験職種研究 1 3（職種⑤）
	26 受験職種研究 1 4（職種⑤）
	27 受験職種研究 1 5（職種⑤）
	28 模擬個人面接 1 3（職種⑤）
	29 模擬個人面接 1 4（職種⑤）
	30 模擬個人面接 1 5（職種⑤）
	31 受験職種研究 1 6（職種⑥）
	32 受験職種研究 1 7（職種⑥）
	33 受験職種研究 1 8（職種⑥）
	34 模擬個人面接 1 6（職種⑥）
	35 模擬個人面接 1 7（職種⑥）
	36 模擬個人面接 1 8（職種⑥）
	37 受験職種研究 1 9（職種⑦）
	38 受験職種研究 2 0（職種⑦）
	39 受験職種研究 2 1（職種⑦）
	40 模擬個人面接 1 9（職種⑦）
	41 模擬個人面接 2 0（職種⑦）
	42 模擬個人面接 2 1（職種⑦）
	43 受験職種研究 2 2（職種⑧）
	44 受験職種研究 2 3（職種⑧）
	45 受験職種研究 2 4（職種⑧）
	46 模擬個人面接 2 2（職種⑧）
	47 模擬個人面接 2 3（職種⑧）
	48 模擬個人面接 2 4（職種⑧）
	49 受験職種研究 2 5（職種⑨）
	50 受験職種研究 2 6（職種⑨）
	51 受験職種研究 2 7（職種⑨）
	52 模擬個人面接 2 5（職種⑨）
	53 模擬個人面接 2 6（職種⑨）
	54 模擬個人面接 2 7（職種⑨）
	55 受験職種研究 2 8（職種⑩）
	56 受験職種研究 2 9（職種⑩）
	57 受験職種研究 3 0（職種⑩）
	58 模擬個人面接 2 8（職種⑩）
	59 模擬個人面接 2 9（職種⑩）
	60 模擬個人面接 3 0（職種⑩）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％ 授業への参加姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60 時間
授業コマ数	30 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験パターン 1 の解答方法 2 適性試験パターン 1 の練習 3 適性試験パターン 2 の解答方法 4 適性試験パターン 2 の練習 5 適性試験パターン 3 の解答方法 6 適性試験パターン 3 の練習 7 適性試験練習 1 8 適性試験練習 2 9 適性試験練習 3 10 適性試験練習 4 11 適性試験練習 5 12 適性試験練習 6 13 適性試験練習 7 14 適性試験練習 8 15 適性試験練習 9 16 適性試験練習 10 17 適性試験練習 11 18 適性試験練習 12 19 適性試験練習 13 20 適性試験練習 14 21 模擬試験（適性試験）1 22 模擬試験（適性試験）2 23 模擬試験（適性試験）3 24 模擬試験（適性試験）4 25 模擬試験（適性試験）5 26 模擬試験（適性試験）6 27 模擬試験（適性試験）7 28 模擬試験（適性試験）8 29 模擬試験（適性試験）9 30 模擬試験（適性試験）10
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実習
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う。
教科書	なし
特記	
授業計画	1 精通者における講義 2 筋力トレーニング・ストレッチ運動 3 集団演技① 4 集団演技② 5 集団演技③ 6 集団演技④ 7 集団演技⑤ 8 集団演技⑥ 9 集団演技⑦ 10 集団演技⑧ 11 集団演技⑨ 12 集団演技⑩ 13 集団演技⑪ 14 集団演技⑫ 15 球技
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、出席状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習・実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	1 5 時間
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分、最終コマのみ 60 分です）
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	海上保安庁による講義を基にした演習・実習
授業計画	1 実務経験者における講義 2 レポート作成 1 3 レポート作成 2 4 実習準備 5 官公庁での実習 6 レポート作成 1 7 レポート作成 2 8 レポート作成 3
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点 100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅲ
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	1 5 時間
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分、最終コマのみ 6 0 分です）
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	海上保安庁職員による講義を基にした演習
授業計画	1 実務経験者における講義① 2 個人研究 3 グループワーク① 4 グループワーク② 5 グループワーク③ 6 グループワーク④ 7 実務経験者における講義②（プレゼンテーション・総評） 8 振り返り
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅳ
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	1 5 時間
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分、最終コマのみ 6 0 分です）
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	神戸市職員による講義を基にした演習
授業計画	1 実務経験者における講義① 2 個人研究 3 グループワーク① 4 グループワーク② 5 グループワーク③ 6 グループワーク④ 7 実務経験者における講義②（プレゼンテーション・総評） 8 振り返り
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	職業実務Ⅴ																
実務家教員	○																
学部・学科	公務員学科 1 年制																
履修年次	1 年次																
開講学期	後期																
科目区分	選択																
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）																
授業時間	1 5 時間																
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分、最終コマのみ 6 0 分です）																
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う																
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する																
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する																
教科書	なし																
特記	消防職関係者による講義を基にした演習・実習																
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>実務経験者における講義</td></tr> <tr><td>2</td><td>レポート作成 1</td></tr> <tr><td>3</td><td>レポート作成 2</td></tr> <tr><td>4</td><td>レポート作成 3</td></tr> <tr><td>5</td><td>実務経験者による実習</td></tr> <tr><td>6</td><td>レポート作成 1</td></tr> <tr><td>7</td><td>レポート作成 2</td></tr> <tr><td>8</td><td>レポート作成 3</td></tr> </table>	1	実務経験者における講義	2	レポート作成 1	3	レポート作成 2	4	レポート作成 3	5	実務経験者による実習	6	レポート作成 1	7	レポート作成 2	8	レポート作成 3
1	実務経験者における講義																
2	レポート作成 1																
3	レポート作成 2																
4	レポート作成 3																
5	実務経験者による実習																
6	レポート作成 1																
7	レポート作成 2																
8	レポート作成 3																
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度																
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある																

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公官庁講話
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	20 時間
授業コマ数	10 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する
教科書	なし
特記	実務経験者による講義
授業計画	1 職種別ガイダンス 1 2 職種別ガイダンス 2 3 職種別ガイダンス 3 4 職種別ガイダンス 4 5 職種別ガイダンス 5 6 職種別ガイダンス 6 7 職種別ガイダンス 7 8 職種別ガイダンス 8 9 職種別ガイダンス 9 10 職種別ガイダンス 10
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点 100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員倫理
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	15 時間
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 120 分、最終コマのみ 60 分です）
授業概要	公務員に関する法令や服務規程を学ぶ
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした演習
授業計画	1 公務員制度 2 公務員服務規程 3 業務上のマナー 4 公務員関連の法令研究 1 5 公務員関連の法令研究 2 6 公務員服務規程の研究 1 7 公務員服務規程の研究 2 8 レポート作成
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点 100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科１年制
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ（１コマ１２０分）
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ボランティアの基礎知識 2 自治体とボランティア 3 ボランティア実体験① 4 ボランティア実体験② 5 ボランティア実体験③ 6 ボランティア実体験④ 7 ボランティア実体験⑤ 8 ボランティア実体験⑥ 9 ボランティア実体験⑦ 10 ボランティア実体験⑧ 11 ボランティア実体験⑨ 12 ボランティア実体験⑩ 13 ボランティア実体験⑪ 14 ボランティア実体験⑫ 15 ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科1年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ（1コマ120分）
授業概要	ボランティアの理想的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情に関するより深い知識や心構えを学ぶ
教科書	
特記	
授業計画	1 自助・共助・公助 2 ボランティア先進国の実情 3 ボランティアを有効活用するために必要なこと 4 ボランティア体験談① 5 ボランティア体験談② 6 ボランティア体験談③ 7 ボランティア体験談④ 8 ボランティア体験談⑤ 9 ボランティア実体験① 10 ボランティア実体験② 11 ボランティア実体験③ 12 ボランティア実体験④ 13 ボランティア実体験⑤ 14 ボランティアレポート 15 ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60 時間
授業コマ数	30 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ビジネスマナーの基礎知識 2 身だしなみと立ち居振る舞い 3 敬語とビジネス用語 4 応接・接遇のマナー 5 電話応対基礎編（講義） 6 電話応対基礎編（練習） 7 電話応対基礎編（実践練習） 8 電話応対応用編（講義） 9 電話応対応用編（練習） 10 電話応対応用編（実践練習） 11 模擬効果測定準備 12 模擬効果測定 13 模擬効果測定結果検証 14 伝言を含む電話応対（講義 1） 15 伝言を含む電話応対（練習 1） 16 伝言を含む電話応対（講義 2） 17 伝言を含む電話応対（練習 2） 18 伝言を含む電話応対（実践練習 1） 19 伝言を含む電話応対（実践練習 2） 20 第 1 回効果測定準備 1 21 第 1 回効果測定準備 2 22 第 1 回効果測定 23 第 2 回効果測定準備 24 第 2 回効果測定 25 第 3 回効果測定準備 26 第 3 回効果測定 27 電話での道案内 28 クレーム対応 29 冠婚葬祭のマナー 30 様々な場面でのマナー
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定 100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習 I
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCEL等の操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 WORDの基本操作 1 2 WORDの基本操作 2 3 WORDの基本操作 3 4 WORDの基本操作 4 5 WORDの基本操作 5 6 WORD効果測定 7 EXCEL基本操作 1 8 EXCEL基本操作 2 9 EXCEL基本操作 3 10 EXCEL基本操作 4 11 EXCEL基本操作 5 12 EXCEL効果測定 13 POWERPOINTの基本操作 1 14 POWERPOINTの基本操作 2 15 POWERPOINTの基本操作 3
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	民法に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による講義を基にした実習
授業計画	1 法律概論（講義） 2 民法の考え方（講義） 3 課題①の研究 1 4 課題①の研究 2 5 課題②の研究 1 6 課題②の研究 2 7 課題③の研究 1 8 課題③の研究 2 9 研究発表シナリオ作成 1 10 研究発表シナリオ作成 2 11 研究発表準備 1 12 研究発表準備 2 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 （試験実施方法）	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政研究
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ（1 コマ 120 分）
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	防衛省職員による講義を基にした実習
授業計画	1 災害対策の枠組み（講義） 2 災害対策の実例（講義） 3 課題研究 1 4 課題研究 2 5 課題研究 3 6 課題研究 4 7 課題研究 5 8 課題研究 6 9 研究発表シナリオ作成 1 10 研究発表シナリオ作成 2 11 研究発表準備 1 12 研究発表準備 2 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 （試験実施方法）	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅴ 理数科目総合	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 0 時間	
授業コマ数	1 0 コマ	
授業概要	物理・化学の基礎知識を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力
	3	運動方程式、エネルギー
	4	運動量、電気
	5	波動
	6	物質の構造 1
	7	物質の構造 2、物質の状態
	8	物質の変化 1
	9	物質の変化 2
	10	無機化合物
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査練習 1
	2	適性検査練習 2
	3	適性検査練習 3
	4	適性検査練習 4
	5	適性検査練習 5
	6	適性検査練習 6
	7	適性検査練習 7
	8	適性検査練習 8
	9	適性検査練習 9
	10	適性検査練習 1 0
	11	適性検査練習 1 1
	12	適性検査練習 1 2
	13	適性検査練習 1 3
	14	適性検査練習 1 4
	15	適性検査練習 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		